

反射板 RAS・PAS



アイルランド Ceramicx 社製

説明

FTE・FQE 専用の高反射率反射板

特長

セラミック社では、最も需要の高いセラミックヒーターFTE型と石英ヒーターFQE型用に専用の反射板を用意しています。反射板はアルミコーティングをしたスチール製です。表面を鏡面研磨加工していますので、高い反射率を誇ると共に反射笠の強度を確保しています。セラミック社製セラミックヒーター(p. 110-111)、石英ヒーター(p. 112)参照。

用途

1. 反射板 (RAS)

後方に放射される赤外線も反射させて効率を高めます。セラミックブロックの電源端子台とアース端子付で、300 mmのリード線(耐熱被覆付)も付いています。背面のM6雌ネジで取り付けます。

2. プロジェクター (PAS)

反射板を筐体に組み込み、性能と共に安全性を向上しました。パイロットランプにより通電を確認でき、取付部背面への熱伝導を最小限に抑え壁面の過熱を抑えます。

例えばスプレーブース内での加熱など、スペースが限られる条件ではPASのスリムな形状が有効です。

また、常にドアが開いているような開放型の加熱エリアで、スペースが限られ断熱材を十分に設備することができない場所では、熱媒体を必要としない赤外線放射加熱を利用すると共に、後方への放射・熱伝導による過熱が抑えられ安全性が高くなります。

背面の取り付け用ブラケット(M6雌ネジ)で取り付けます。この取り付け用ブラケットにより角度調節も容易にできます。

写真



写真1 反射板に取り付けたセラミック・石英ヒーター<手前から>

- 1) 石英ヒーター FQE×1台とRAS1
- 2) セラミックヒーター FTE×2台とRAS2
- 3) セラミックヒーター FTE×2台とPAS2
- 4) 石英ヒーター FQE×3台とPAS3

種類

リード線付の反射板単体(RAS)と、電源用端子台・パイロットランプを備え後方への放熱を抑えるプロジェクター(PAS)の2種類を用意しました。

反射板 :RAS (Aluminised Steel Reflectors)

プロジェクター :PAS (Aluminised Steel Projectors)

標準の反射板は、最も需要の高いセラミックヒーターFTE型(245×60)と石英ヒーターFQE型(247×62.5)専用です。

反射板にはそれぞれエレメントを1~5台取り付け可能です。

[空気加熱ヒーター取扱上の注意](#)をお読みください。

型番	寸法	型番	寸法
RAS 1	92×75×254	PAS 1	92×75×350
RAS 2	92×75×504	PAS 2	92×75×600
RAS 3	92×75×754	PAS 3	92×75×850
RAS 4	92×75×1004	PAS 4	92×75×1100
RAS 5	92×75×1254	PAS 5	92×75×1350

注記

- 標準の反射板は、セラミックヒーターFTE(245×60)と石英ヒーターFQE(247×62.5)専用です。これ以外のエレメント用は特注品となります。
- 取り付け方法が異なるため、セラミックヒーター用と石英ヒーター用では種類が異なります。セラミックヒーターと石英ヒーターで同じ反射板を共用することはできません。

図面

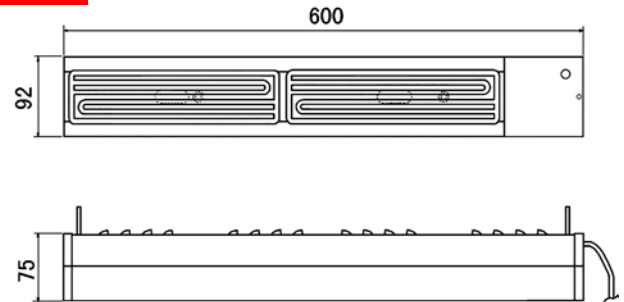


図1 PAS2の形状と寸法

特注品

標準品以外にも、セラミックヒーターを何種類か組み合わせてより大きな発熱ユニットを製作することも可能です。反射板もエレメントの構成に合わせて設計・製作します。ご希望の仕様により、センサー付ヒーターエレメントの配置、コンパクトにまとめかつ耐熱線やブスパーによる配線を使用したものなど、安全で高効率な加熱ユニットとして製作できます。

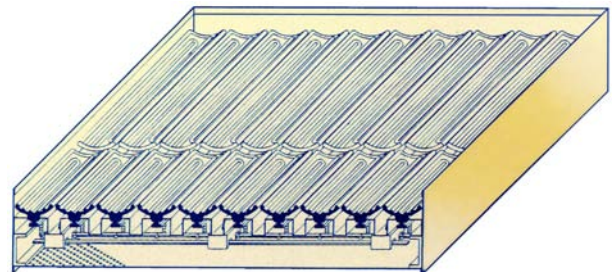


図2 セラミックヒーターによる加熱ユニットの例



写真2 石英ヒーター(HQE型)組込みパネル



注意

- 傷が付き易いので取扱いには注意してください。
- 通電中の発熱体は300℃以上になります。体や衣服などに接触しないようにしてください。